

●R7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」で設定する目標等

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 値 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
②学校と地域 の課題	05 その他	学校、保護者、地域住民等の 関係性が希薄になっている。	学校、保護者、地域住民等が一体となり、 学校を核とした地域づくりを推進するため、 学校運営協議会及び地域学校協働活動推 進員を設置してきた。	地域学校協働活動推進員が設置済みの学 校においては、学校と地域との情報交換の 場などを設け、地域の声を積極的に生かせ る関係性を構築する。また、未設置の学校 においては、令和7年度中に活動できるよう 設置に努める。	保護者や地域住民との協働によ る活動を行う学校が増える。	「コミュニティ・スケー ルや地域学校協働 活動の仕組みを生 かして、保護者や地 域との協働による活 動を行いましたか」 において、「よく行っ た」又は「どちらかと いえば、行った」と回 答した学校の割合	小学 校 68.7 中学 校 60.0	%	小学 校 79.0 中学 校 67.0	小学 校 98.5 中学 校 72.4	05 本 年度 の目 標値を 大きく 上回 り、設 定して いた課 題が 解決し た 実績値が目標値を大幅に上回り、コミュニティ・スクールや地 域学校協働活動に関する理解が広がったと結果と考えられ る。 一方で、実際に行われている活動の多くは、登下校時の見 守り、学校周辺の環境整備、授業補助など、学校支援的な 内容が中心である。今後は、放課後子供教室をはじめとし る。地域が主体となり学校と協働して企画・実施する活動を より一層推進し、その取り組みを支援していく必要がある。